

平成25年度 当初予算  
予算の概要（別冊）

財 政 課

## 目 次

部 局	課 所	事 業 名 等	頁
政策企画局	市民参加・協働推進課	「わがまち魅力アップ応援事業」の制度充実	1
政策企画局	交流・文化施設建設室	交流・文化施設整備事業(建設事業及び開館に向けたプレ事業の開催)	2
総務部	危機管理防災課	雨量観測システムの導入	3
財政部	財政課	住民参加型市場公募債「ひとまちげんき 上田市民債」の発行	4
市民生活部	生活環境課	地球温暖化防止対策の推進と生活環境の保全	5
市民生活部	廃棄物対策課	資源循環型社会の形成に向けたごみ減量化の推進	6
健康福祉部	健康推進課	上田市内科・小児科初期救急センター日曜・祝日の開所	7
健康福祉部	高齢者介護課	介護予防・日常生活支援総合事業	8
こども未来部	保育課	保育環境の整備(神科第一保育園及び常田保育園の改築事業)	9
こども未来部	保育課	特別保育料の改定(延長保育・一時預かり・休日保育)	10
商工観光部	雇用促進室	職業訓練事業補助金 上田地域高等職業訓練センターへの補助金	11
商工観光部	観光課	上田城千本桜まつり 第10回記念特別編成	12
農林部	農政課	遊休荒廃農地の解消と再生活用	13
農林部	森林整備課	有害鳥獣駆除対策事業	14
都市建設部	土木課	市道丸子小牧線バイパス整備事業	15
都市建設部	公園緑地課	上田城跡公園バリアフリー化事業 社会資本整備総合交付金(都市公園安全・安心対策総合支援事業)	16
消防部	消防総務課	消防団詰所整備事業、消防団車両等更新整備事業	17
教育委員会	教育総務課	上田市立第二中学校改築事業	18
教育委員会	スポーツ推進課	自然運動公園管理事業 50m プール全面塗装改修事業	19
丸子地域自治センター	建設課	茂沢音楽村線道路整備事業	20
真田地域自治センター	産業観光課	菅平高原スポーツランド(サニアパーク菅平)陸上競技場第三種公認更新整備事業	21
武石地域自治センター	建設課	武石地域における辺地対策事業の推進～安全で快適な生活環境づくり～	22
水道局	浄水管理センター	安全・安心な水道 ～「水源の安全確保」～	23
水道局	下水道課	公共下水道への農業集落排水施設統合事業	24

# 「わがまち魅力アップ応援事業」の制度充実

～地域の個性や特性を生かした市民協働によるまちづくりを目指して～

政策企画局 市民参加・協働推進課

市民の主体的な取組を積極的に支援！

## 住民の力で広がる まちづくりの輪



上田地域(ホタル水路整備)



丸子地域(景観美化)

市民協働



地域内分権



真田地域(案内板設置)



武石地域(新作踊りの創作)

### 1 事業の概要・目的

まちづくりの主役である市民の皆さん自らが、創意工夫により地域の魅力を高め、市民の交流を促進する自主的・主体的な取組を財政的、人的に支援する事業です。

市民の参加と協働によるまちづくりや地域内分権を推進するため、平成25年度から制度を更に充実します。

### 2 新制度の主な内容(見直しのポイント)

「個性あるふるさとづくり応援事業(自治会対象・補助限度額150万円、補助期間5年以内)」と「特色あるまちづくり応援事業(市民活動団体対象・補助限度額100万円、補助期間2年以内)」を一本化し、更に充実しました。

- ・補助対象者 自治会・自治会連合会、5人以上の市民活動団体
- ・補助対象事業 地域課題の解決や地域の活性化に資するため自主的・主体的に取り組む事業
- ・補助限度額 200万円(100万円・150万円から増額)
- ・補助期間 5年以内(市民活動団体は2年以内から5年以内に延長)
- ・対象経費 謝金、委託料、原材料費など事業に必要な経費
- ・補助率 10/10以内
- ・募集回数の増加(年1回→3回、募集予定時期 2月・6月・9月)
- ・新たに取り組む事業は何度でも申請が可能(1自治会1事業限りを廃止)
- ・同一年度内に複数の事業の申請が可能
- ・事業の定着にむけて庁内挙げて取組をサポート
- ・地域ごとに事業報告会を開催

### 3 H25当初予算案計上額

補助金 1億円 (平成24年度当初予算額 5,090万円)

# 交流・文化施設整備事業

(建設事業及び開館に向けたプレ事業の開催)

政策企画局  
交流・文化施設建設室



平成26年春竣工、秋開館  
予定の交流・文化施設

リージョナルシアター  
モデル事業イメージ



おんかつ事業イメージ

写真: (財)地域創造HPより

## 1 事業の概要・目的

「文化の薫るまちづくり」の実現に向け、平成26年春の竣工を目指し工事を進めます。また、同年秋のオープンに向かって、市民の皆さんとともに夢と期待を膨らませていくため、開館後に実施予定の事業を先取りしたワークショップや講演会などの開館プレ事業を行います。

## 2 実施事業

### 建設事業 (8,788,576千円)

本体工事、太陽光発電設備工事、施設付帯外構工事、  
工事監理委託料

### 「リージョナルシアターモデル事業」 (499千円)

演劇の表現者(演出家)による、演劇の手法を使ったワークショップを高校生、小・中学校等を対象に実施します。

### 「公共ホール音楽活性化(おんかつ)事業」 (551千円)

学校などにおける音楽家によるワークショップや文化会館でのコンサートを実施します。(上記2事業は、(財)地域創造採択事業)

### 「文化の薫るまちづくりの集い事業」 (2,160千円)

文化・芸術の理解を深め、開館に向けて期待を高めていくため、市民団体との協働により講演会等を実施します。

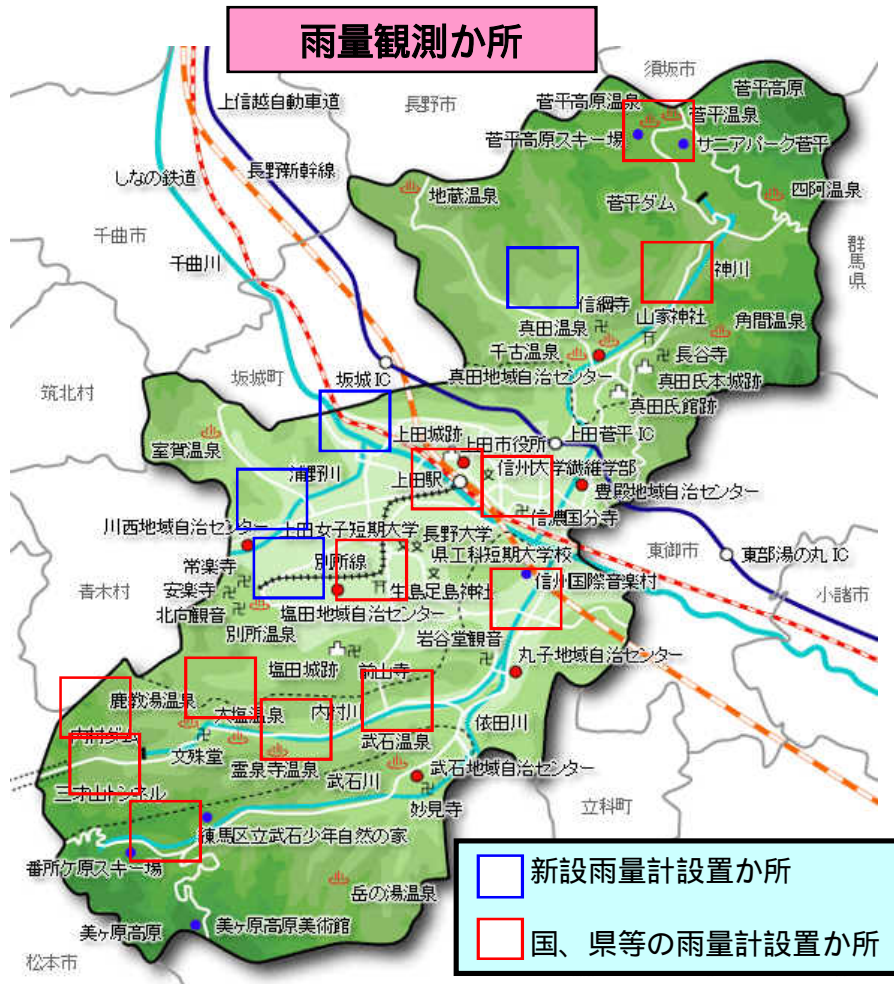
## 3 周知方法

催事の情報などは広報うえだ紙面、上田市ホームページ等を活用してお知らせします。



# 雨量観測システムの導入（雨量計の設置）

危機管理防災課



## 1. 事業の目的

近年多発するゲリラ豪雨(局地的な豪雨)に対応するため、雨量情報の収集機能を充実させ、被害の未然防止と軽減を図ります。

## 2. 事業の概要

国や県が既に配置している雨量計の設置か所(12か所)では捕捉しきれない地域に、市独自の雨量計を新たに4か所設置し、これらの雨量計から得られる観測データを随時把握するとともに、市ホームページ等を通じて公表するシステムの構築を進めます。

## 3. 事業費

909千円【雨量計設置数(4か所)・機器リース(5年)・雨量観測システムの構築】

### 雨量計新設予定か所

上田地域 3か所  
真田地域 1か所 (計4か所)

### 国、県の雨量計設置か所

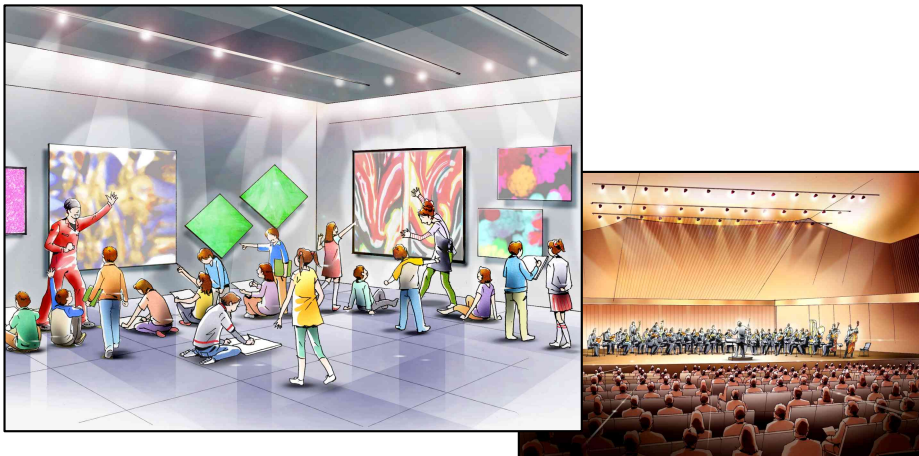
上田地域 3か所  
丸子地域 6か所  
真田地域 2か所



既設の雨量計

# 住民参加型市場公募債「ひとまちげんき 上田市民債」の発行 (上田市平成25年度第一回公募公債)

財政部財政課



## 1. 事業の概要・目的

市民一人ひとりが市政の主役として、市政に積極的に参加し協働するまちづくりの実践の手段のひとつとして市民債を発行します。

事業への参加意識や市政への理解、関心を深め、また、資金調達の多様化を図る目的で、平成23年度に引き続き「ひとまちげんき 上田市民債」を発行します。

## 2. 発行対象事業

交流・文化施設整備事業(平成25年度末竣工予定)

交流・文化施設は、大小ホール、美術館、交流施設、緑地・広場など、様々な機能をあわせ持ち、文化振興だけでなく、地域の魅力と活力を生み出すシンボル施設として、平成21年12月に策定した「交流・文化施設等整備計画」に基づき建設を進めています。

## 3. 発行額

5億円程度(5年満期一括償還)

## 4. 発行日

平成26年3月(予定)

## 5. 利率

5年利付国債等の利率を参考に後日決定します。

## 6. その他

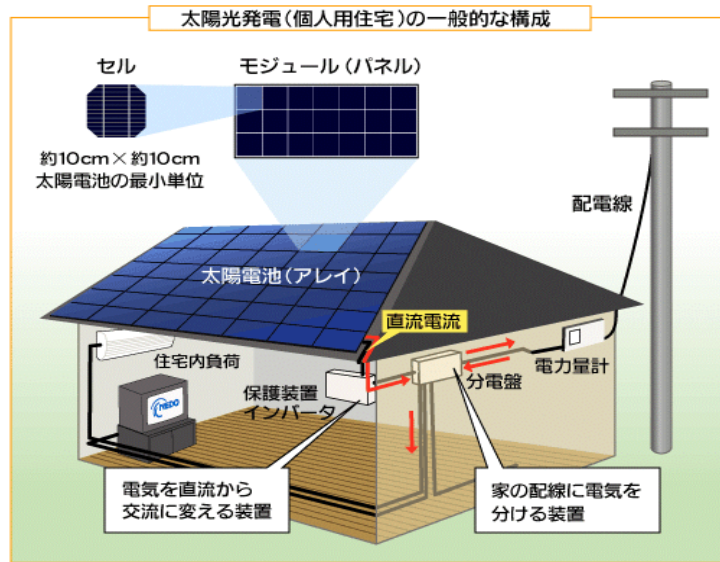
詳細は決定次第、広報うえだ紙面、上田市ホームページ等を活用し、お知らせします。



# 地球温暖化防止対策の推進と生活環境の保全

市民生活部  
生活環境課

## 太陽光発電の仕組み



(資料:NEDO技術開発機構)

## 地域別の防犯灯数とLED防犯灯への交換状況 (単位:基)

地域	H23防犯灯数	H23交換数	H24交換数 (見込)	H25以降 交換予定
上田	9,853	1,899	1,950	6,004
丸子	2,302	460	460	1,382
真田	1,666	330	330	1,006
武石	394	95	70	229
合計	14,215	2,784	2,810	8,621

地球温暖化対策の推進と生活環境を保全するため、再生可能エネルギー利活用と省エネルギーの推進に取り組みます。

### ◆新エネルギー活用施設設置費補助金(太陽光・太陽熱) 59,100千円

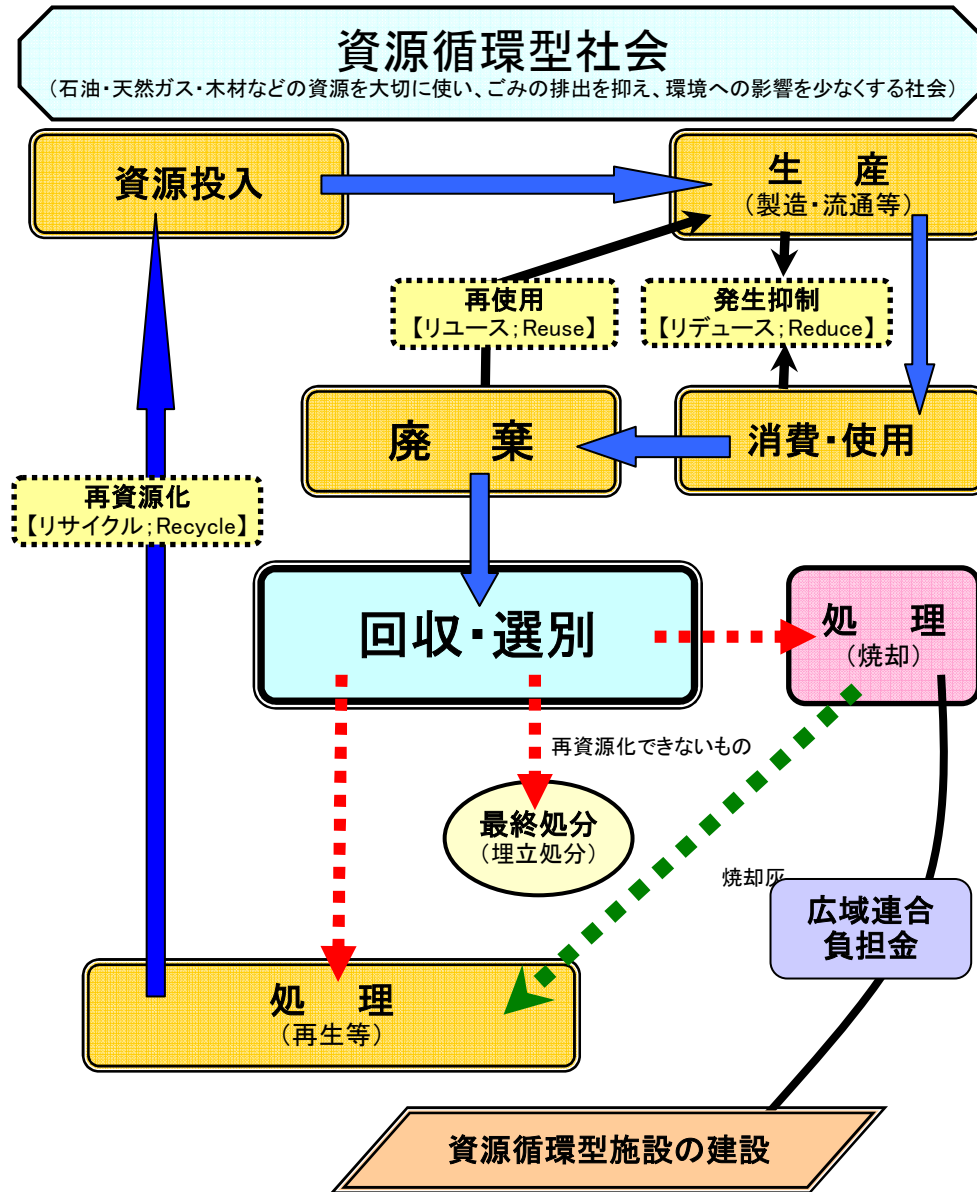
- 事業の概要・目的  
地球温暖化防止と、上田市の地域特性を生かした“エネルギーの地産”を推進するため、市内の住宅等に太陽光発電システム、太陽熱高度利用システムを設置する市民に補助金を交付しています。
- 補助対象者  
(1) 自らが居住するための市内の住宅等に活用施設を設置しようとする方または活用施設が設置された市内の住宅等で販売目的としたもの(例:建売住宅)を購入しようとする方  
(2) 補助金の交付の申請をした年度内に活用施設の設置を完了することができる方  
(3) 住宅等が自己の所有に属さない場合にあつては、当該住宅等の所有者の承諾を得られる方  
(4) 太陽光発電システムを設置しようとする場合にあつては、補助金の交付の申請をした年度内に電力会社と電灯契約及び余剰電力の販売契約を締結できる方  
(5) 市税の滞納がない方
- 補助金額  
・太陽光発電システム:1kWあたり26,000円、補助対象出力6kWまで(上限額:156,000円)  
・太陽熱高度利用システム:定額30,000円

### ◆自治会が管理する防犯灯のLED化への助成 57,800千円

- 事業の概要・目的  
温室効果ガス排出量の削減と電気使用量の抑制のため、自治会が管理する市内約14,000基の防犯灯を平成23年度～平成27年度の5年計画ですべてLED化するため、補助金を交付しています。
- 補助対象  
自治会が管理する防犯灯のLED灯への交換
- 補助金額  
・既設蛍光管型防犯灯をLEDに交換する場合:経費の10/10以内(1灯につき20,000円を限度)

# 資源循環型社会の形成に向けたごみ減量化の推進

市民生活部  
廃棄物対策課



## 1 事業の概要・目的

廃棄物の発生抑制及び適正処理のための啓発活動、生ごみの堆肥化や枝木類の資源化など、持続可能な「資源循環型社会」の構築を目指し、3R【Reduce(リデュース);発生抑制、Reuse(リユース);再使用、Recycle(リサイクル);再資源化】を推進します。

## 2 主な事業

### (1) 分別収集、資源物の有効活用の推進

- ① ごみ収集(可燃・不燃) 279,430千円
- ② 資源物回収(自治会、ウィークエンドリサイクル) 119,627千円
  - ・ 回収品目: 古紙・古布、缶・ビン、ペットボトル など
- ③ 資源物回収促進交付金 34,500千円
  - ・ 資源物回収に協力している自治会等への還元金

### (2) リサイクルの推進

- ① 不燃物減量処理 36,553千円
  - ・ 不燃ごみを選別して、資源の有効利用とごみの減量を推進
- ② 廃プラスチック処理 149,912千円
  - ・ プラスチック類の選別とリサイクル
- ③ 剪定枝木類再資源化 2,414千円
  - ・ 回収された剪定枝木類のチップ化等の再資源化
- ④ 焼却灰リサイクル 24,807千円
  - ・ 上田クリーンセンターから排出される焼却灰のリサイクル

### (3) 生ごみ堆肥化

- ① ごみ減量化機器等購入費補助金 4,631千円
  - ・ 生ごみ処理機等の購入費に対する補助
- ② 生ごみ堆肥化モデル事業 13,060千円

### (4) 必要不可欠な施設である資源循環型施設の建設を上田地域広域連合と連携協力して推進します。

- ① クリーンセンター費負担金 441,023千円
- ② クリーンセンター費交付税配分金 38,907千円
- ③ ごみ処理広域化推進事業費負担金 58,672千円



# 上田市内科・小児科初期救急センター日曜日・祝日の開所

健康福祉部  
健康推進課

平成25年4月1日からは、  
日曜日・祝祭日も開所します。

## 上田市内科・小児科 初期救急センター



内科系の初期治療が対象で、すべての年齢のかたが受診できます。  
センターへ出かける前に、まずはお電話を！

15歳まで 小児科  
の方は☎21-2233

16歳以上 内科  
の方は☎21-2280

診療日：毎日（お盆と年末年始を除く）

休診日：8/14～8/16、12/30～1/3



かかりつけ医をもちましよう。  
● ちょっと体調が悪いな～と感じたら、  
早めにかかりつけ医にかかりましよう

こんな時の受診はご遠慮ください。  
● けがなど外科的な治療 ● 少しかぜ気味 ● 薬がなくなった  
● いつもの花粉症かしら～ ● 予防接種をしたい

小児科……上田市、東御市、青木村、長和町、坂城町  
内科……上田市、東御市、青木村、長和町、坂城町

お問い合わせは… 上田市健康推進課まで ☎28-7124

### 1. 事業の概要

内科・小児科初期救急センターは、夜間の初期症状の患者に対する相談と診療を行っています。平成23年度は約4,500人が利用され、地域医療に大きな役割を果たしています。

しかし、日曜日及び祝日は休診であり、その夜間において初期症状に対応できる医療機関がないため、乳幼児の保護者等、大勢の市民から開所を望む声が寄せられていました。

この日曜日等の開所について、課題であった医師の確保については、医師会等の協力により見通しがついたため、25年4月から、日曜日と祝日も診察等を実施します。

### 2. 事業の目的(効果)

日曜日と祝日も開所し、内科的初期救急患者の診察等を実施することにより、地域住民の医療に関する安心と安全を確保するとともに、二次救急医療を担う輪番病院等の医療スタッフへの負担軽減を図ります。

### 3. 事業費(日曜日・祝日の開所に係る経費)等

- ・歳出 12,072千円(医師報酬等)
- ・歳入 8,627千円(診療収入等)

※ この施設は東御市・青木村・長和町・坂城町と共同運営を行っています。

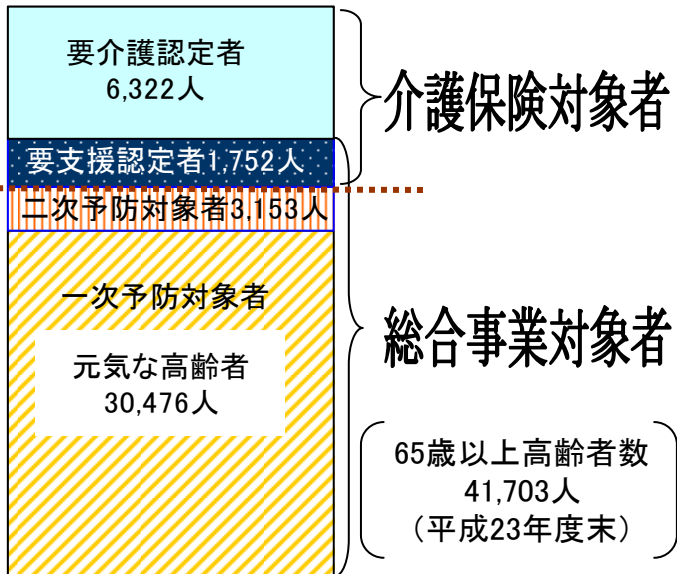
# 介護予防・日常生活支援総合事業

健康福祉部 高齢者介護課



介護予防サポーター  
養成講座

介護予防事業  
運動器機能向上



## 1. 事業の概要・目的

上田市の高齢化率は、平成25年1月1日現在26.2%で、今後も更なる少子高齢社会が進み、高齢者のひとり暮らしや夫婦のみの世帯や、認知症の高齢者の増加も予想されています。

そうした中で、介護予防も含め、可能な限り住み慣れた地域・自宅においてその人らしく自立した日常生活を営むことが望まれています。

そこで平成25年度から、県内の19市で初めて介護予防・日常生活支援総合事業に取り組みます。これにより切れ目のない介護予防事業の推進と、地域資源を活用し、地域での介護予防・生活支援事業を進めることで、高齢者の自立支援を進めてまいります。

## 2. 事業の主な取り組みについて

- 上田市による介護予防事業の実施と、要支援者が、介護予防事業へ参加可能となる制度に取り組みます。
- 介護予防が必要な高齢者把握事業を実施します。
- 地域で介護予防を推進する人材を育成します。(介護予防サポーターの養成)
- 介護保険対象外の高齢者で、生活支援が必要な方へ、ヘルパーの派遣を行います。
- 介護保険対象外の高齢者に対して、介護予防を図るため、短期宿泊事業を実施します。

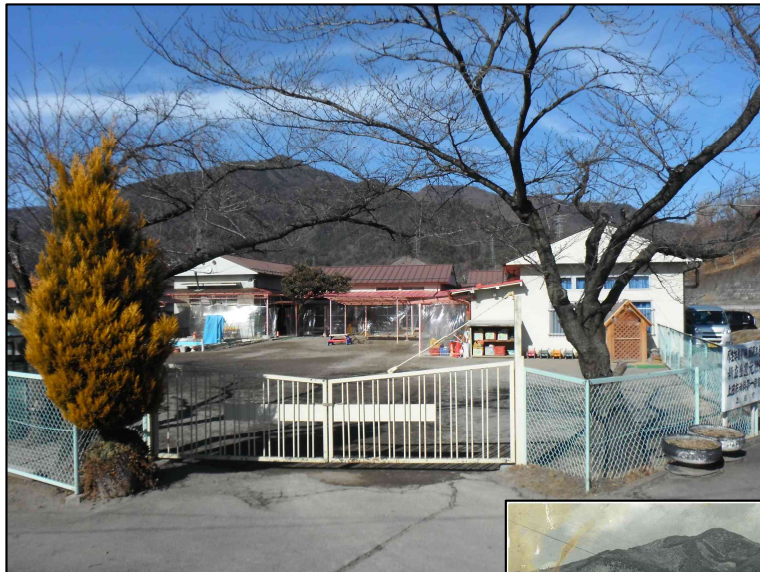
## 3. 介護予防・日常生活支援総合事業の予算について

平成25年度の予算額は、181,396千円

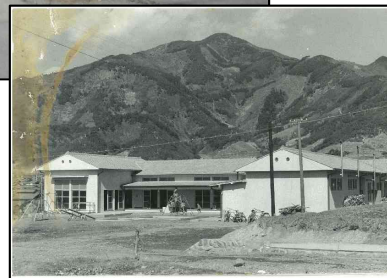
# 保育環境の整備

( 神科第一保育園及び常田保育園の改築事業 )

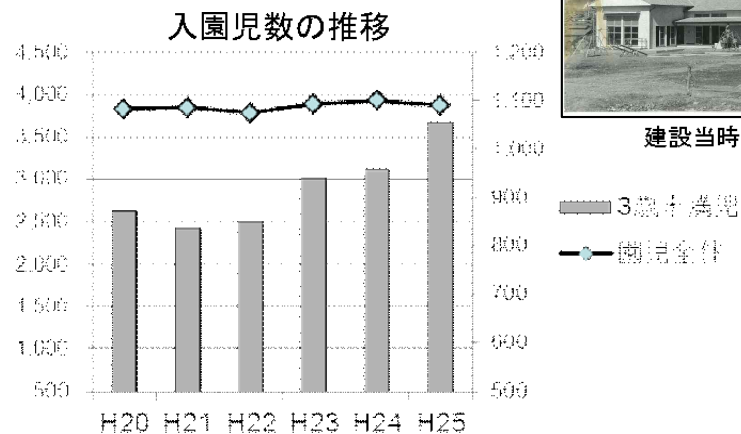
こども未来部 保育課



現在の園舎



建設当時の神科第一保育園  
(昭和40年撮影)



## 1 事業の概要・目的

少子化が進行する一方で、共働き家庭の増加を反映して、3歳未満の入園児数が増えています。また、市内にある保育園や幼稚園のうち、昭和50年代までに建築された園舎の多くが老朽化しています。今後も、計画的に施設の整備を進めます。

## 2 神科第一保育園(公立)の改築

市内で最も古い園のひとつです。現地での改築を進めます。

【所在地】上田市住吉

【建築年】昭和39年

【園児数】118人(平成25年2月現在)

【平成25年度予定】

実施設計;基本的な設計・レイアウトに基づき、園舎の詳細な設計を行います。

造成工事;建設用地の造成工事を行います。

【今後予定】

造成工事に続き、園舎の建築工事を進め、平成26年度以降早期の完成を目指します。

## 3 常田保育園(私立)の改築

園舎改築事業の経費の一部を補助します。

【所在地】上田市常田

【建築年】昭和39年

【園児数】54人(平成25年2月現在)

【平成25年度予定】

園舎の建築工事をを行い、年度末に完成する予定です。



# 特別保育料の改定 (延長保育・一時預かり・休日保育)

こども未来部 保育課

## 1 事業の目的

核家族や共働き、一人親世帯の増加と共に、保護者の就労・勤務形態が変化し、保育に対するニーズも多様化しています。仕事と子育てを両立し、安心して子育てができる環境を整備するために特別保育(延長保育、一時預かり保育、休日保育)の料金体系を見直し、利便性の向上と保護者の経済的負担の軽減を図ります。

## 2 延長保育料の改定

延長保育は、保護者の就労等の理由により、通常の保育時間を越えて児童をお預かりするものです。

＜改定の概要＞

- ① 現在30分単位となっている料金設定を15分単位に細分化します。
- ② 事前申込による土曜日も含めた月額料金を設定します。

現行

区分	月15日以下、土曜日	月16日以上
3歳未満児	30分120円	30分1,800円/月
3歳以上児	30分80円	30分1,200円/月



改定後

区分	臨時利用、土曜日	定額利用 (30分当たり)
3歳未満児	15分60円【-】	1,500円/月【△300円】
3歳以上児	15分40円【-】	1,000円/月【△100円】

【】内は現行と改定後の比較

## 3 一時預かり保育料、休日保育料の改定

一時預かりは、保護者がパートなどで週1～3日程度断続的に働く場合や、けがや病気等で入院する場合などに一時的にお預かりするものです。また、休日保育は、日曜日、国民の祝日等に保育が必要な児童をお預かりするものです。

＜改定の概要＞

現在4時間、8時間単位となっている料金設定を、1時間単位に細分化します。

※一時預かり事業、休日保育事業ともに同じ料金設定です。

現行

区分	4時間まで	8時間まで	8時間以上 (30分当たり)
3歳未満児	1,150円	2,300円	120円
3歳以上児	600円	1,200円	80円



改定後

区分	8時間まで (1時間当たり)	8時間以上 (30分当たり)
3歳未満児	280円【△30円】	120円【-】
3歳以上児	140円【△40円】	80円【-】

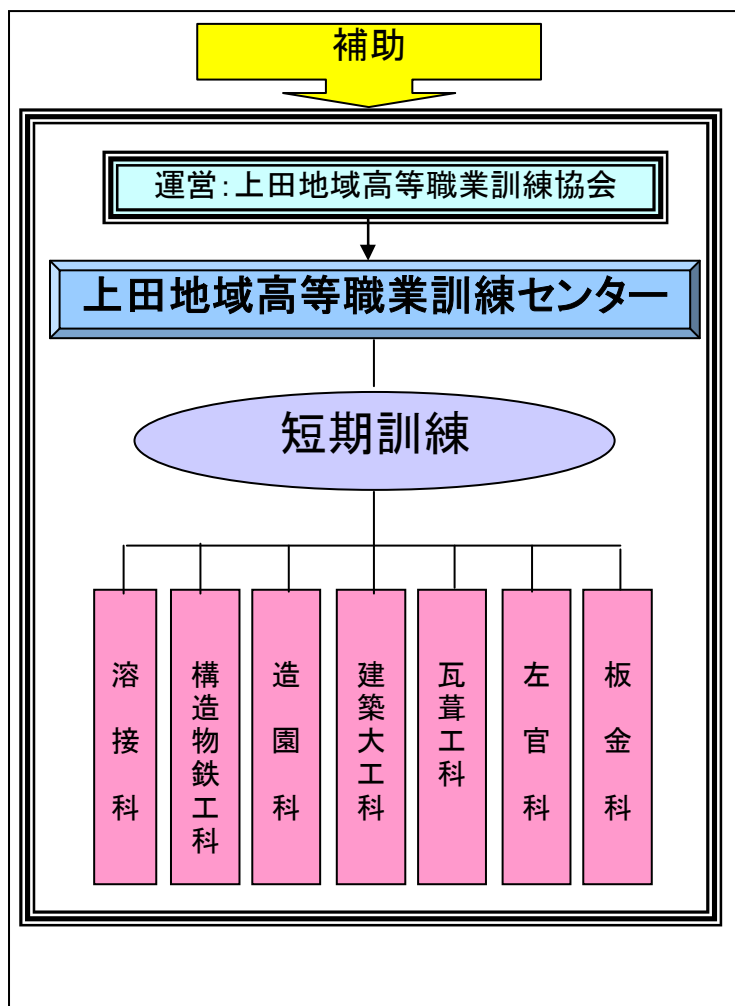
【】内は現行と改定後の比較(4時間利用ごとの差額)



# 職業訓練事業補助金

(「上田地域高等職業訓練センター」への補助金)

商工観光部  
雇用促進室



## 1 事業の概要、目的

ものづくりを担う高度な人材の育成は、中小企業の技術の向上を図り、熟練技能者が蓄積した技術やノウハウを次代へ継承するうえで、重要施策として考えています。

平成24年3月に上田地域のものづくりを担う人材育成の中核であった「上小高等職業訓練校」の閉校は、大変残念なことであるとともに、この地域のものづくりに対する将来への不安をもたらしました。市としても、「ものづくり産業への人材育成に対してどのように取り組むか。」が課題となっていました。

このような中で、上小溶接協会の皆さんが中心となり会員を集め、上田地域高等職業訓練協会準備会を立ち上げ、ものづくりの人材育成の組織作りに取り組み、平成25年度に「上田地域高等職業訓練センター」が開校することとなりました。

このため、市でもものづくり産業の振興を図り、ものづくりを担う人材育成の灯を消さないためにも、資金面からの支援をするため、高等職業訓練事業に対して補助を行います。

## 2 「上田地域高等職業訓練センター」の概要

長野県から、旧上小高等職業訓練校跡地を借り受け、当面、6ヶ月以下の「短期訓練」を中心に職業訓練を行い、運営が軌道にのり次第、3年間のカリキュラムを組んだ「長期訓練」を行っていく予定です。

「短期訓練」では、溶接科、構造物鉄工科等の7科を設置し、2日間の日程の講習から11日間をかけて行う講習等を開催し、高等職業訓練を行い、人材育成を図っていきます。

## 3 補助額

3,423千円

# 上田城千本桜まつり 第10回記念特別編成

平成25年4月5日(金)～4月21日(日)

商工観光部 観光課



## 1. 目的

平成16年度開催から10年、毎年まつりを訪れる観光客が増加、市を代表する観光イベントに成長した「上田城千本桜まつり」。

10年の節目にふさわしいイベント開催により、  
【観光客誘客の拡大】、【観光による地域経済の活性化】、  
【滞在型観光の推進】の実現を目指します。

特に【夜桜】をバックアップし、来訪者目標60万人(H24:48万人)を達成を目標とします。

## 2. まつりの概要

上田城千本桜まつりは、市外、県外から観光客が訪れるおまつりとして大きく成長しました。特に夜桜のライトアップは上田城と桜を幻想的に表現し、訪れた皆さんに感動を与えています。

そこで、夜桜見物もお楽しみいただけるイベントも企画し、10周年を記念する数々の注目イベントを行い、上田城千本桜まつりを開催します。

日中には「10周年記念 おふるまい 十勇士鍋」、「春の信州上田うまいもん大集合!!」、「信州上田おもてなし武将隊によるステージパフォーマンス」、「アーティスト野外ライブ」など、さらに夜間には、アーティスト夜桜チャリティーライブ「千本桜ライトアップ」、「夜桜と食イベント(美味だれの酒場)」、「ステージイベント遊芸の宴」の夜の部、などをお楽しみいただけます。

また、例年開催しているイベントとして、上田城甲冑隊や上田城こども十勇士隊による「甲冑試着体験」や「櫓門へ導く灯火の景」など、関連イベントとして、「千本桜まつりスイーツフェア」や「第9回桜コンサート(市内中学校吹奏楽部演奏会)」なども開催します。

## 3. 主な記念イベント

- ・アーティスト夜桜チャリティーライブ 4月14日(日)
- ・上田城太鼓まつり<全国ジュニア打ち手集結> 4月21日(日)
- ・ステージイベント「遊芸の宴」夜の部開催 4月13日(土)





# 遊休荒廃農地の解消と再生活用

## 遊休荒廃農地活性化対策事業補助金

農林部 農政課

荒廃農地



再生作業



作物の作付け



### 1 事業の目的

農地荒廃化の防止と遊休荒廃地の解消により農村環境の維持・保全及び担い手農家への農地集積に対する取組みを支援し地産地消の推進、食料自給率の向上を図る。

### 2 事業の内容

遊休荒廃農地を引き受けて作物生産を再開する農業者等が行う再生作業や土づくり、作付等の取組を支援します。

#### <主な内容>

遊休農地の解消に係る経費を支援します。

補助率：定額（35,000円/10a）

対象経費 次の様な農地の再生・営農に関する取組みを実施するのに必要な経費

- ア 草刈り、抜根、耕起及び整地
- イ 土壌改良
- ウ 作物の作付
- エ 自主運営型市民農園の開設

3 予算額 180万円

国の交付金事業もあります。  
【耕作放棄地再生利用緊急対策交付金】

#### <主な内容>

#### 1 耕作放棄地を再生利用する活動への支援

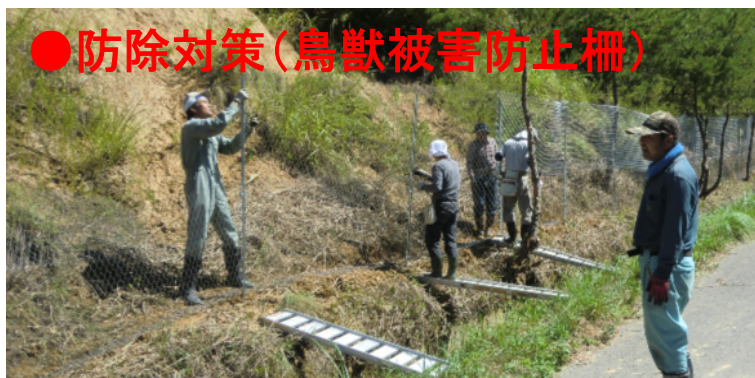
荒廃した耕作放棄地の再生作業（雑草・雑木の除去、土づくり等）や再生農地への作物の導入、試験販売等の取組を支援します。

#### 2 施設等の整備への支援

耕作放棄地の再生利用に必要な基盤整備（用排水施設の整備等）や農業用機械・施設、貯蔵施設、農業体験施設等の整備を支援します。

# 有害鳥獣駆除対策事業

農林部 森林整備課



## 1. 事業の概要・目的

野生鳥獣による農作物への被害の軽減を図るため、自治会、上田市農業委員会、上小獵友会、鳥獣保護員、信州うえだ農業協同組合、信州上小森林組合、上小漁業協同組合、東信農業共済組合、東信森林管理署、長野県などと協力し、環境整備対策、防除対策、捕獲対策などを実施します。

## 2. 事業内容

### 環境整備対策

藪払いなど動物が隠れる場所をなくす緩衝帯整備  
(自治会等との委託契約により地元施工で実施)

### 防除対策

大型獣の侵入を防ぐための防止柵の設置  
(自治会等への資材支給により地元施工で実施)  
中型獣等の被害を防ぐための防護柵の設置への補助  
(補助率3/10以内 限度額7万円)

### 捕獲対策

ニホンジカ、イノシシなど農作物への加害鳥獣の駆除  
(檻・わなによる捕獲、銃器による一斉捕獲)  
集落等捕獲実施隊による集落ぐるみの捕獲体制の整備

### 狩猟者の育成・確保

檻・わなの支給、保険加入、狩猟免許取得補助など  
(有害鳥獣駆除従事者に限る)

## 3. 総事業費

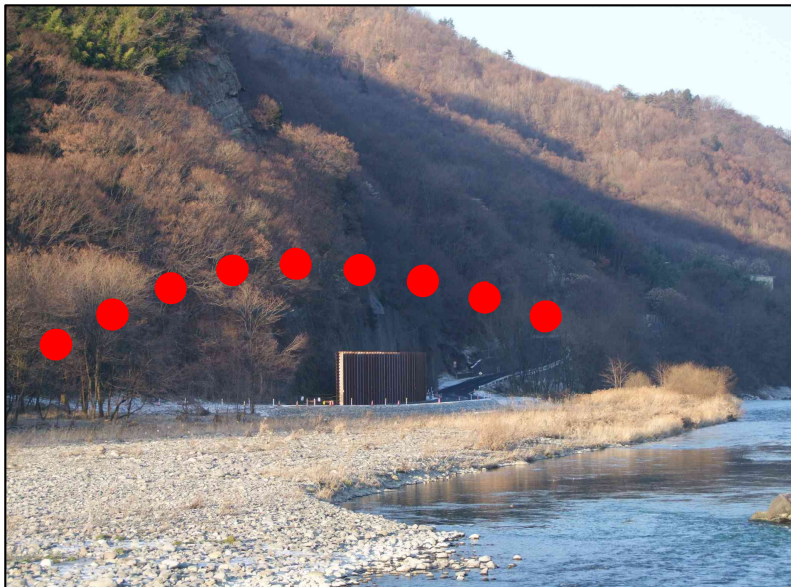
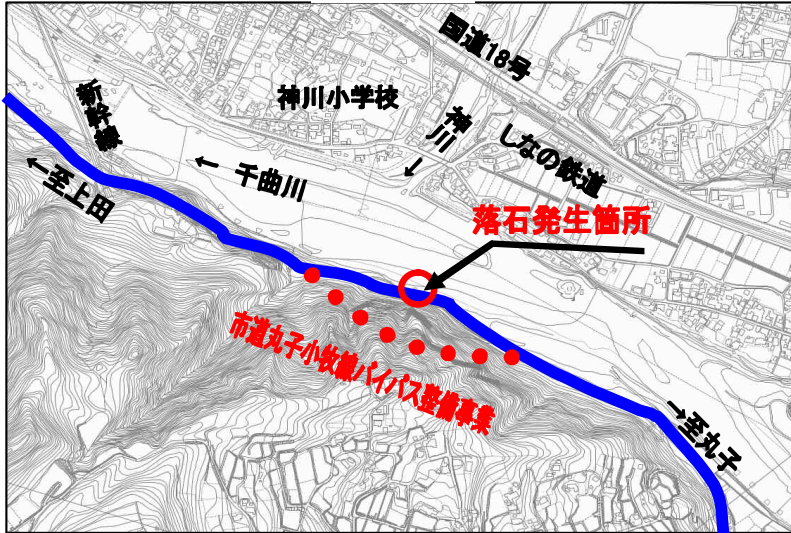
約4,900万円



# 市道 丸子小牧線バイパス整備事業

都市建設部 土木課

位置図



## 1. 事業の概要・目的

平成23年4月に落石事故が発生しました市道丸子小牧線は、1日6,000台を超える交通量があり、上田地域と丸子地域を結ぶ幹線道路の一つとして、市民生活に必要不可欠な路線となっています。一方で千曲川の河川区域内を通過するため、洪水時には度々の通行止めを余儀なくされる状況でした。

今回の落石事故による調査で、道路上部のせり出した岩などに亀裂が多数確認され、再度の落石が危惧れることから、恒久的に安全が確保できるトンネルを含むバイパス整備を計画しました。財源につきましては、国の道整備交付金事業に採択されました。

一日も早く安全安心な通行と利便性が図れますよう事業を進めてまいります。

## 2. 事業内容

全体事業費 1,900,000千円

バイパス整備

W = 9.5 ~ 9.75m (片側歩道2.5m)

L = 785.7m

・トンネル L = 519.0m

・取付道路 L = 266.7m

平成24~27年 トンネル工事施工  
(債務負担)

## 3. 事業期間

平成24年度 ~ 平成27年度 (予定)

平成23年4月発生 落石状況



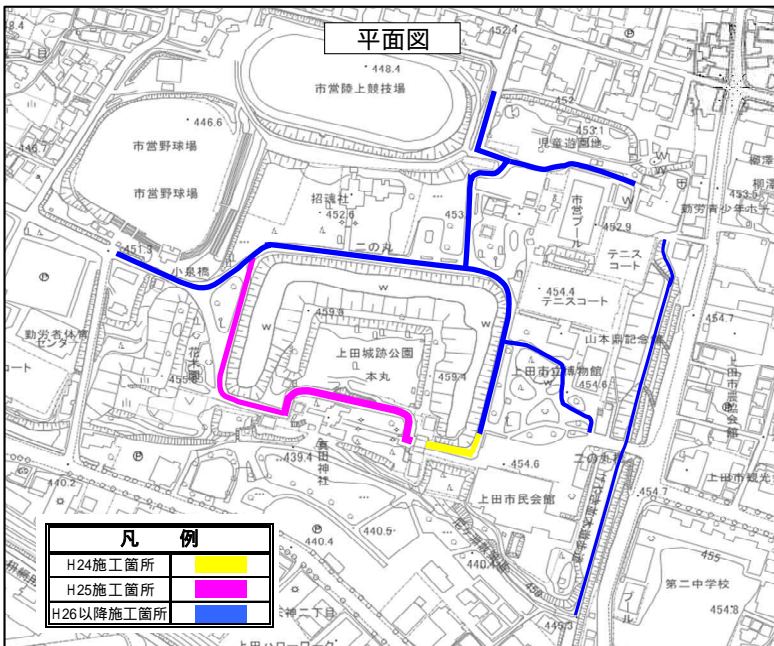
# 上田城跡公園バリアフリー化事業

社会資本整備総合交付金（都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業）

都市建設部  
公園緑地課



透水性コンクリート舗装



## 1 事業の概要・目的

上田城跡公園は、交流や憩いの場として、年間を通じて多くの市民の皆様にご利用されており、また、真田氏の居城としての史跡の魅力や『上田城千本桜まつり』などの各種イベントにより、季節毎に県内外から多くの観光客が訪れていますが、公園内の園路は、未舗装のため、降雨や降雪によりぬかるみができ、以前から舗装化などの改善の要望がありました。

このため、バリアフリー法の基準に適合した公園内の園路舗装と車止め、水飲み場を改修し、来園者の皆様に安全に、安心して利用していただける公園となるよう整備を進めます。

## 2 事業内容

全体事業費	160,000千円	
園路舗装	W = 2.0m ~ 13.7m	L = 1,600m
石張水路	L = 270m	水飲み場 5箇所・車止め 6箇所
平成25年度施行予定		
園路舗装	W = 7.0m ~ 4.0m	L = 320m
石張水路	L = 200m	

## 3 事業期間

平成24年度～平成27年度（予定）

## 4 史跡内整備について

上田城跡公園は国史跡に指定されており、掘削や園路舗装等の現状変更には文化庁の許可が必要となります。今回の園路舗装は平成24年度に許可を得ましたので、年度計画でバリアフリー化を推進します。



「消防団詰所整備事業」「消防団車両等更新整備事業」等を推進し、地域の安全・安心を守る消防団施設及び消防車両等の資機材の充実強化を図ります



消防団詰所の整備



- 平成24年度整備
- ・丸子第6分団詰所  
(管轄：塩川・藤原田地区)
  - ・真田傍陽分団詰所  
(管轄：傍陽地区)



消防団車両等の整備



- 平成24年度更新整備
- ・指揮車 第8方面隊  
(管轄：武石地区)
  - ・小型動力ポンプ付普通積載車 丸子第6分団  
(管轄：塩川・藤原田地区)
  - ・本原分団  
(管轄：本原地区)
  - ・小型動力ポンプ付軽積載車 丸子第4分団 (管轄：依田・生田地区)
  - ・小型動力ポンプ
    - 上田第12分団 (管轄：神科地区)
    - 丸子第3分団 (管轄：腰越・丸子地区)
    - 丸子第4分団 (管轄：依田・生田地区)
    - 真田本原分団 (管轄：本原地区)
    - 武石東部分団 (管轄：鳥屋・沖・下武石・小沢根・余里地区)

1 消防団詰所整備事業

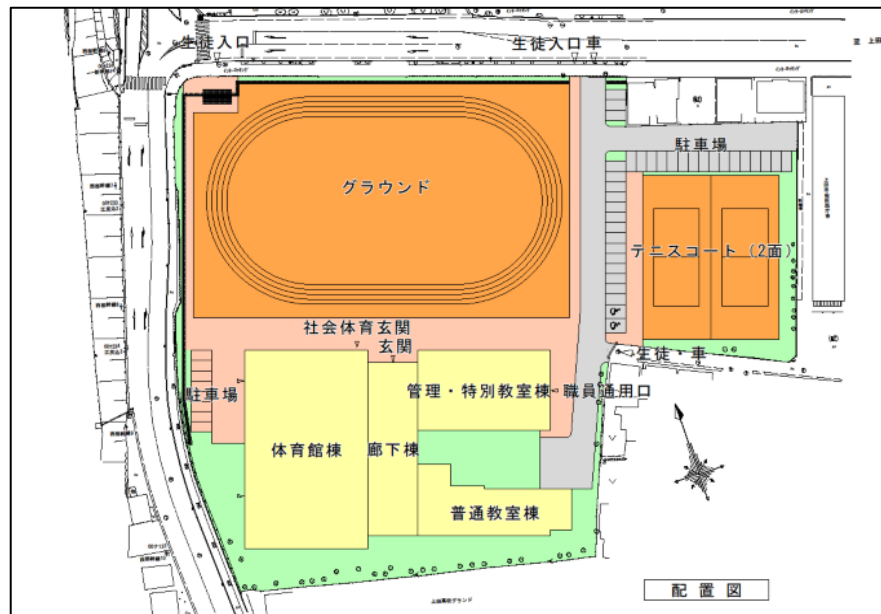
- (1) 事業の概要・目的  
地域防災の要である消防団の活動拠点となる詰所を整備することにより、消防団員の活動環境の整備と、地域の防災力の向上を図り、安全で安心なまちづくりを推進します。
- (2) 平成25年度に整備する詰所
- ・真田長分団詰所 (管轄：長地区)
  - ・武石東部分団詰所 (管轄：鳥屋・沖・下武石・小沢根・余里地区)
  - \* その他、平成26年度に整備する詰所の設計を行います。
    - ・上田第15分団詰所 (管轄：東塩田地区)
    - ・武石西部分団詰所 (管轄：上武石・下本入・上本入地区)

整備費 68,820千円

2 消防団車両等更新整備事業

- (1) 事業の概要・目的  
地域に最も密着し、防火防災活動を行う消防団は、地域の安全で安心なまちづくりのために必要不可欠であることから、老朽化した消防団の消防車両や資機材を更新することにより、災害に備え、機動力や機能性等の消防力の向上と強化を図ります。
- (2) 平成25年度に更新整備する消防車両等
- ・消防ポンプ自動車 丸子第3分団 (管轄：腰越・丸子地区)
  - ・小型動力ポンプ付軽積載車 丸子第6分団 (管轄：塩川・藤原田地区)
  - 武石東部分団 (管轄：鳥屋・沖・下武石・小沢根・余里地区)
  - ・小型動力ポンプ
    - 上田第15分団 (管轄：東塩田地区)
    - 丸子第4分団 (管轄：依田・生田地区)
    - 真田長分団【角間】【横沢】 (管轄：長地区)

整備費 35,000千円



## 1. 事業の目的

上田市立第二中学校は校舎・屋内運動場とも昭和34～35年度建設のため老朽化が進んでおり、また、耐震診断の結果も基準を満たしておりません。市ではこれらを総合的に判断し、安全快適な教育環境整備を図るため、施設の全面改築を行います。

## 2. 事業の概要

- ①鉄骨造3階建て 面積約8,000㎡ (現状: 6,045㎡)
- ②敷地北側に校庭、南側に校舎・屋内運動場、東側にテニスコートを配置
- ③既存校舎・屋内運動場を使用しながら現校庭部分に校舎等建設 (仮設校舎の必要なし)
- ④プールは占有面積が大きく使用期間もわずかなことから、清明小学校プール (平成25年度建設予定) を共同で使用
- ⑤周辺の上田城跡公園等に合わせた「お城風」の外観

## 3. 特徴

- ①限られた敷地を有効に使ったシンプルで機能的な校舎配置
- ②木材をふんだんに使った落ち着いた温かみのある校舎
- ③太陽光発電や各種省エネ機器により地球環境に配慮
- ④屋内運動場や特別教室を生涯教育活動に開放できる配置や構造

## 4. スケジュール

- |               |                       |
|---------------|-----------------------|
| ①H25.6～9      | 第二体育館・プール解体、埋蔵文化財発掘調査 |
| ②H25.10～H27.3 | 校舎・屋内運動場建設            |
| ③H27          | 旧校舎・屋内運動場解体           |
| ④H28          | 外構工事 (校庭・ネットフェンス・植栽等) |

## 5. 事業費

約27億円



# 自然運動公園管理事業 50mプール全面塗装改修事業

教育委員会  
スポーツ推進課



自然運動公園50mプール全景



平成24年度上田市民水泳記録会

## 1. 事業の概要

自然運動公園50m競泳プールの全面塗装

### (1) プール底面、壁面の全面塗装

塗装劣化による色落ちや不快感をなくし、快適なプールに改修します。

### (2) ラインの塗装

色落ちしたコースライン、5m・25mの表示ラインがよく見える泳ぎやすいプールに改修します。

## 2. 事業費

24,000千円

## 3. 自然運動公園プールの沿革

- ・昭和53年流水プール外オープン
- ・昭和54年50m競泳プールオープン
- ・夏のレジャー施設として、毎年2万人以上の市民の皆様にご利用いただいています。
- ・東信地域で唯一の公認プールとして、中学校体育連盟や高等学校体育連盟の大会に活用されています。
- ・毎年8月に開催される上田市民水泳記録会は、市民の健康イベントとして定着しています。



# 茂沢音楽村線道路整備事業



## 豊かな心を育む憩いと文化の空間に 未来へ向けた安全と安心をプラス



### 事業の概要・目的

この道路は、県道上田塩川線から直接信州国際音楽村にアクセスできる道路として、平成27年度までに延長565mを整備するものです。

道路ができることで、音楽村へのアクセス性がよりよくなるとともに、災害時の連絡道路としての活用が期待できます。また、周辺道路では、丸子小牧線のトンネル工事と小牧線入口の県道交差点改良工事が進められる予定で更なる安全性と利便性の向上が図られます。

信州国際音楽村は、市民の文化活動の拠点として利用されるほか、春のスイセン、夏のラベンダーなど季節ごとの花も人気があり、昨年からは市民有志でつくるバラの会の皆さんが公園内にバラ園の整備を進めています。

今年はホールこだまの冷暖房設備改修や公園内にトイレを新設し、市民の憩いの場となるよう整備します。

### 茂沢音楽村線道路整備事業

平成25年度 道路工事、用地買収（4千330万円）

事業期間 平成21年度～平成27年度

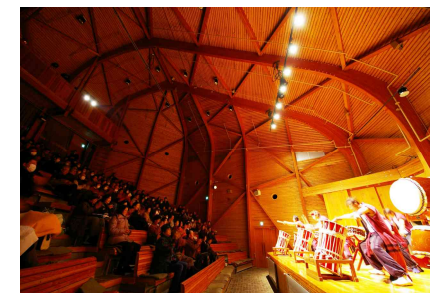
全体事業費 1億8千5百万円

延長 565m



### 信州国際音楽村及び周辺の整備事業

- 信州国際音楽村ホールこだまの冷暖房設備を改修
- 丸子小牧線バイパス（トンネル）工事
- 信州国際音楽村周辺公園芝生広場にトイレを新設
- 県道上田塩川線・丸子小牧線交差点の改良（長野県事業）





# 菅平高原スポーツランド（サニアパーク菅平） 陸上競技場第三種公認更新整備事業

真田地域自治センター 産業観光課



## 概要

施設名 上田市 菅平高原スポーツランド  
 愛称 サニアパーク菅平：【サニア】は「太陽に近い」「Sun near」からの造語でさわやかな高原をイメージしています  
 設置目的 地域産業の振興を図るため設置  
 使用開始 平成11年5月21日  
 施設面積 185,221㎡（南北：約560m×東西：約330m）  
 運動施設  
 ① マイクグラウンド：156m×90m 芝生スタンド：5,000人収容  
 ② 陸上競技場：第3種公認取得／全天候型400mトラック8コース 芝生スタンド：4,000人収容  
 ③ A～Dゲラウンド：4面  
 ④ ランニングコース：1周 650m  
 ⑤ 100m斜走路：スピード・ダッシュ・脚筋力トレーニング用  
 ⑥ マレットゴルフコース：18ホール・パー72／芝生コース 5面のゲラウンド、陸上競技場のフィールドは全て天然芝生で覆われています  
 利用実績 H23年度延利用者数：5万人

## 1 事業の概要・目的

菅平高原スポーツランドは標高1,300m、日本で最も標高の高い場所に位置する日本陸上競技連盟第三種公認規格の陸上競技場を有し、毎年4回の公認陸上競技会が開催されています。さらに公認競技場から、トレーニングにおけるタイム計測結果などの信憑性の保証などの優位性も確保されています。第三種公認の有効期間は、5年間（平成25年10月9日期間満了）であることから、第三種公認認定継続のため、消耗や破損箇所の修繕、ルール改正等による変更箇所など、公認要件を満たすための関連整備などを行います。

## 2 整備内容

・ 陸上競技場改修工事	47,400千円
・ 公認料、検定受験料	146千円
・ 備品購入	2,900千円
・ 備品修繕	645千円





# 武石地域における辺地対策事業の推進

～安全で快適な生活環境づくり～（道路改良）

武石地域自治センター  
建設課



平成25年度事業で道路改良が行われる市道武石和田線。紅白の花桃が咲き乱れるゴールデンウィーク期間中は、大勢の人たちで賑う。



市道大布施線は、平成26年度に道路整備が予定されている。大布施橋付近は、地元住民が武石地域の新たな景勝地として整備を進め、紅葉の時期にはカメラスポットとなる。

## 1. 事業の概要・目的

武石地域では、平成18年3月の合併により近傍の市役所の距離などの地理的条件が変わったことから辺地総合整備計画により、有利な起債を活用した施設整備が進められています。

辺地の安全で快適な生活環境づくりと地域活性化に欠かせないインフラ整備の一環として効率的な道路整備事業に平成24年度に着手、平成27年度の完成を目指します。

## 2. 全体事業の概要

上本入東部辺地

市道小寺尾線 道路改良事業 延長 = 2,600m  
(平成24年度着手)

上本入西部辺地

市道築地原横沢線 道路舗装事業 延長 = 820m  
(平成24年度着手)

市道大布施線 道路改良事業 延長 = 1,800m  
(平成26年度着手予定)

余里辺地

市道武石和田線 道路改良事業 延長 = 3,200m  
(平成25年度着手)

## 3. 事業概要

市道小寺尾線	延長 = 800m	事業費	26,000千円
市道築地原横沢線	延長 = 100m	事業費	3,000千円
市道武石和田線	延長 = 700m	事業費	35,000千円

辺地とは... 交通条件および自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれず、他の地域に比較して安全性、利便性が低い山間地。

# 安全・安心な水道 ~「水源の安全確保」~

上下水道局 浄水管理センター

## 湧水水源のクリプトスポリジウム対策



傍陽第1配水池



上本入第2配水池

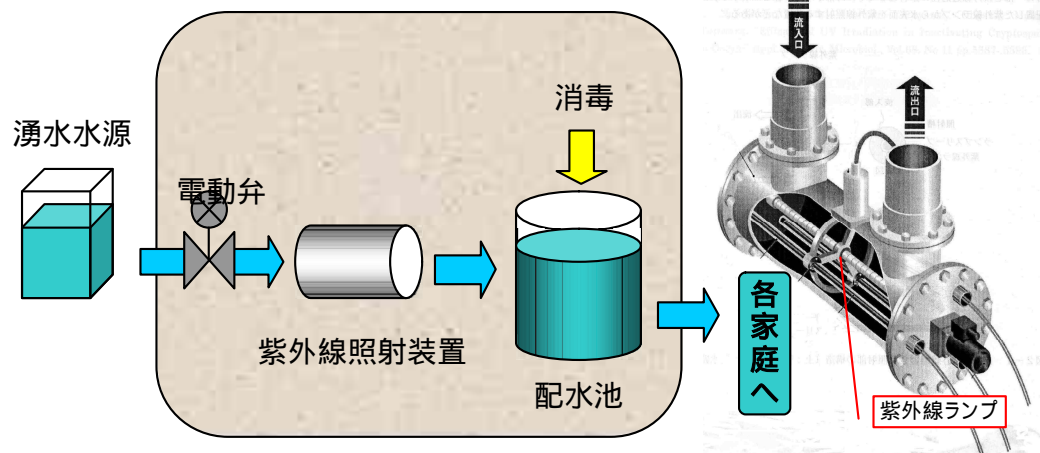


中央第1配水池



余里第1配水池

### 紫外線による水処理フロー



## 1.事業の目的

真田、武石地域では、主に湧水を水源とし、塩素消毒を行うことによって水道水を供給してきました。

しかし近年、野生動物の急増に伴い、その糞便中のクリプトスポリジウムが地下に浸透することにより、湧水水源が汚染されることが懸念されています。

このクリプトスポリジウムは塩素では死滅せず、増殖すると健康被害を及ぼすことから、従来の塩素消毒に加えて、紫外線照射装置を導入し、安心・安全な水道水の供給を図っていきます。

## 2.紫外線照射の効果及び特長

紫外線の照射には、クリプトスポリジウムの核酸(DNA)を損傷することによってその増殖を抑え、健康被害の発生を防ぐ効果があります。

また、短時間の照射でもその効果を得られることが特長です。

## 3.施設整備の概要

配水池	水源	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	装置数	事業費 (千円)
傍陽第1配水池	大松	1,500	1基	138,000
上本入第2配水池	長坂	550	1基	
中央第1配水池	唐沢	1,500	1基	
余里第1配水池	余里第2	550	1基	

## 4.補助事業の活用

厚生労働省 生活基盤近代化事業(増補改良)

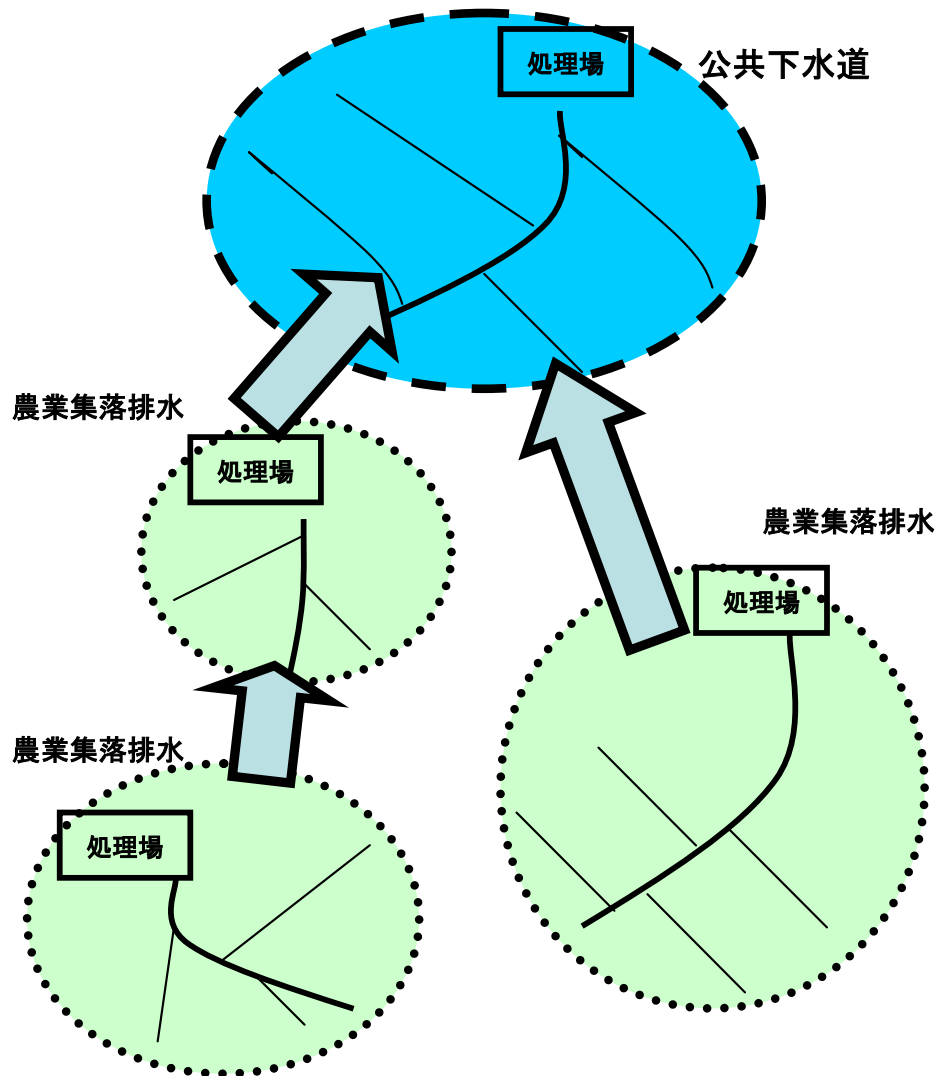
補助率 1 / 4



# 公共下水道への農業集落排水施設統合事業

上下水道局 下水道課

イメージ図



## 1. 下水道事業の概要

上田市の公共下水道は、昭和47年に上田地域の供用を開始したのを始め、丸子・真田地域についても順次整備が行われ、現在、下水道処理区内の普及率は、96.7%(平成24年4月1日現在)となっております。

また、農業集落排水の整備は、昭和61年から始まり、平成16年度に完了しており、現在、上田市全体で27地区で26処理場(上田17、丸子3、真田3、武石3)が稼動しています。

## 2. 課題

農業集落排水は、処理場の数が多いことにより、施設の老朽化等による維持費等に多額の経費を費やしていますが、その一方で今後においては、少子高齢化(人口減少)や節水機器普及等による使用水量の減少による料金収入減も見込まれます。

## 3. 農業集落排水施設の統廃合事業

初期に建設した農業集落排水の処理場は、耐用年数を迎え施設の更新工事が必要となります。また、他の処理施設も順次更新が必要となり多額の経費がかかります。

そのため、農業集落排水を公共下水道へ接続することにより、更新費用を抑制し、維持管理の大幅な削減を図ります。

平成25年度においては、統廃合のための処理施設の調査を実施します。